



◆ 第70回卒業証書授与式挙行 ◆

3月2日(月)から臨時休校となったため、予定を変更して2月28日(金)に急ぎ卒業式を挙行了しました。開式のあと、胸にコサージュをつけた卒業生は担任の先生に呼名され、校長先生より一人ひとり卒業証書を授与されました。校長先生は「夢と希望を持ち続けてください。人には無限の可能性があるので、自分に限界点を決めてしまうことなく、勇気と自信を持って夢の実現に向けて前進してください」と式辞を述べ、卒業生にエールを送られました。



◆ 卒業生のことば(定時制新聞より抜粋) ◆

○ 入学当初、クラスメイトとうまくやっていたか、不登校だったので学校にちゃんと行けるかなど、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、クラスメイトとはすぐに仲良くなり、先生方も支えてくださったので、そんな不安な気持ちはだんだん無くなっていきました。

この学校で過ごした二年間は長いようであつという間の短い二年間でした。楽しいことも辛いこともありましたが、こうして無事に卒業することができ、諦めずに頑張ってきてよかったなと心から思っています。

四月からは大学生です。色んなことに挑戦しながら、悔いのない大学生活を送れるように頑張ります。

○ この高校に入学してから、あつという間に三年間が経ちました。長かったような、短かったような高校生活でした。もともと体が弱かった私は、三年間学校に通い続けられるのか不安でした。体育の授業や学校行事など、体調が悪くなって参加できなくなったことも多かったです。皆と一緒に楽しく出来なかったことを残念に思います。……

これから後も色々大変なことがあると思いますが、何事も諦めずに頑張りたいです。何よりも卒業出来たことが嬉しいです。三年間ありがとうございました。

○ 転入した後も学校を休みがちだった僕ですが、担任の先生から電話で「心に響く言葉」をいくつももらった事でやる気が芽生え、特に三学期は一日も休まずに出席できました。そして同級生の皆さんが温かく接してくれた事、優しく気を遣ってくれた事も大きな心の支えとして胸に残っています。本当にありがとうございました。

この一年は、「人は周りに生かされている」という事を実感した期間でした。なので、これからはもっと周りの人達に感謝しながら過ごそうと思います。そして、ここでの経験を春からの大学生活や、将来の職場での人間関係に生かしていきたいです。

○ はやく働きたい、でもせめて高校は卒業しておきたい。そう思ってこの学校に来た。働き始めたら自分の足で立てるようになるものだと思っていた。しかし、世の中はそんなに甘くはない。どれ程学校と仕事の両立が難しいかをこの四年間で思い知らされた。こちらを頑張ればあちらが疎かになる。これを繰り返してしまった。

…… 何度か卒業を諦めかけたが、その度に担任の先生や、他の先生方に止められ、説得された。「まあ、それが先生の仕事だもんな。」と、仕事の疲れで余裕がなくなったせい、道徳心を失ったような事を思っていた。しかし、それは違っていた。困ったら常に全力でサポートしてもらえ、親のように心配もしてくれた。

四年生の教室のエアコンは調子が悪く、冬はととても寒かったが、先生方からいただいた自分への気持ちはいつも温かかったです。お世話になりました。ありがとうございました。



4月の行事予定

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| ・3日(金) 17:30 離任式 | ・ 9日(木) 18:00 オリエンテーション |
| ・8日(水) 17:30 新任式・始業式 | ・10日(金) 18:00 身体測定・個人面談 |
| 18:00 入学式 | |